

# 協会ニュース 1

平成29年1月1日



## 目次

平成29年新年あいさつ (県庁消防保安課長).....	2
販売店訪問.....	3
LPガス機器等製品情報 .....	4
特集	
青年部会による	
「火育」「食育」の取組.....	5
保安・防災特集 (10月) .....	6
支部だより	
柳井支部.....	7
萩支部.....	8

(表紙の写真 中核充てん所防災訓練)

(一社) 山口県LPガス協会  
〒753-0074 山口市中央4丁目5-16  
TEL (083) 925-6361  
FAX (083) 923-8366  
E-mail : yamalpgasu@mx52.tiki.ne.jp



**LPガス**  
人と地球にスマイルを

# 平成29年新年挨拶

山口県総務部消防保安課  
課長 原田 聡



平成29年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、LPガス保安行政の推進に対し、御理解と御協力を賜り、誠に有り難うございました。

当課では「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」を所管しており、毎年度、「液化石油ガス販売事業者等保安指導方針」を定め、今年度は「法令遵守の徹底」「事故防止対策の徹底」を重点項目として、各種保安対策に全力で取り組んでいるところです。

さて、昨年は4月に熊本地震、10月に鳥取地震と近県で大規模地震が相次ぎ、県民に大きな不安を与えることとなりました。

協会会員の皆様が取り扱っておられるLPガスは、県内約60%の35万世帯に供給されている県民生活に欠かせない身近なエネルギーであり、大規模災害が発生した場合でも、復旧が早く、しかも個別供給が可能な災害に強いエネルギーとして、果たす役割は極めて重要です。

貴協会では、県及び県内全市町と「災害時の応急生活物資の供給に関する協定」を締結され、避難所へコンロやシャワー施設をいち早く提供していただくなど、災害時に率先して御支援をいただいているところであり、今後とも、被災者を勇気づけ、早期復旧につながる取組として、引き続き御協力をよろしくお願い致します。

一方、LPガスの保安を取り巻く状況を見ても、全国のLPガス事故件数は、平成18年以降200件を超え、増加傾向でしたが、平成25年以降減少に転じています。

本県においても、近年、同様に減少しており、平成28年は1件\*1となりました。これも協会会員の皆様の保安確保・事故防止の取組の成果と考えており、心から感謝申し上げます。どうかこれからも、事故のない、県民の皆様が安心して暮らせる生活の確保に、更なる御尽力をいただきますようお願い致します。

最後になりましたが、貴協会の今後益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

\*1：平成28年12月1日現在

# 販売店訪問



本日は宇部市の株式会社ダイサンプロパンさんを訪問し、代表取締役である中野光国さんにお話を伺いました。

**床西（以下「床」）**：Q. 貴社のご紹介をお願い致します。

**中野社長（以下「中」）**：当社は私の祖父が昭和43年に有限会社大酸プロパンとして創業しました。

その後、祖父から承継した父が19年間社長を務め、平成24年に私が3代目として引き継ぎました。

**床**：Q. 社長に就任されて約4年ということですが、今後を見据えた課題のようなものはありますか。

**中**：幸いなことに以前と比べればオール電化に転換される方は減りましたが、一方で介護施設に入られる方も含めて「自然減」に対し脅威を感じます。当社だけの課題という訳ではないでしょうが、ここ宇部市では今後毎年1,000人ずつ人口が減少することが予想されています。この人口減少社会において、当社はどのように進んで行くべきなのか等考えることは多いです。

**床**：Q. ガス以外ではどのような活動を行っておられますか。

**中**：この業界では夏場の方が仕事のゆとりがあるということもあり、夏が主力となる商材を探した結果、約10年前からエアコンクリーニングに取り組みました。フィルター交換だけでは取り除けない汚れやカビを除去できるだけでなく、風量や温度の改善度合いを数値で示すことによりお客様も効果を実感されるようで、リピーターとなって頂ける方も多く、ありがたいことに今では夏場も多忙な時期となりました。

また、約7年前にコスモスベリーズのボランティアチェーンに加盟しました。翌年に地デジ化を控えていたため確実な商機があるということもありましたが、それ以上に当時考えていたこととしては、LPガスを供給させて頂いているお客様のうち使用されているガス器具がコンロのみで、しかもその器具は量販店等で買われるというお客様に対し、もっと距離感を縮める方法はないかと考え、どのご家庭にも必ずある家電の取り扱いを開始することにしました。

**床**：Q. 最後に今後の意気込みをお願いします。

**中**：当社は「地域の御用聞き」を目指しています。お客様との信頼関係を強化し、当社ができること・できないことにかかわらず、まずは「ダイサンプロパンに相談してみよう」と思って頂ける関係づくりをしていきたいと考えています。そのためにもガスだけの取り扱いだけではなく、幅広い分野の話ができるように勉強していくつもりです。

**床**：本日は時間を頂きありがとうございました。

**中**：こちらこそありがとうございました。

株式会社 ダイサンプロパン  
宇部市大字川上348番地  
TEL.0836-31-0174



# LPガス機器等製品情報

今回から、LPガス機器等（コンロ・グリル、給湯器、暖房器具のほか、メーター、付属器具等を含む。）に関する製品情報を紹介し、需要拡大等に役立てていきたいと思っております。

主に新製品を対象とする予定ですが、今後3回はメーカー3社（ノーリツ、パロマ、リンナイ（50音順））から、

- ①これまでの製品開発（改良を含む。）の流れや中心コンセプト等
  - ②現在の製品のコンセプト、特長、他メーカーと違う点等
  - ③お奨めの1品とその理由、特長、工夫した点等
- について紹介していただきます。是非参考としてください。

## ～ノーリツはマルチグリルでグリル調理文化に変革をおこす～

### ■商品化に至った経緯

#### 【顧客動向】

近年、コンログリルの使用率が低下傾向にあります。2013年にユーザーアンケートを実施したデータでは、『週に1回以上コンログリルを使用する人』は、約4割でした。2007年のデータと比較すると約2割使用率が低下した状況でした。理由は、『グリルのお掃除が大変』というのが大半でした。

#### 【2009年当時の開発テーマ】

- ①お掃除性の向上でグリル使用を促すこと。
- ②自動調理機能の幅を広げることで時短・省手間の提案ができること。
- ③IHコンロに対抗できる調理性の創出

そこから約5年の開発期間を費やし、2014年に業界初、グリル部に温度センサー付き下火バーナーを搭載したマルチグリル（家庭用グリドル）を開発いたしました。



### ■マルチグリルの3つの特長

- ①焼き網がなく簡単にお掃除ができるシンプルなグリル構造
- ②2種類の専用容器（浅型のプレートパンと深型のキャセロール）を使って、『焼く』『煮る』『蒸す』『あたためる』
- ③『ノンフライ』『パン』、多彩なお料理をグリルで作ることができること。
- ④グリル部の温度センサー付き下火バーナーの細やかな火力・温度制御で調理するので、煙を約80%、ニオイを約92%削減できること。マルチグリルによって、『グリルのお掃除性が向上』→『グリル使用率が上がる。』→『ガス火で色々な調理をグリルでやりたくなる。』という流れをつくりたいと思っています。

### ■【渾身の一品】2016年に更に進化したマルチグリルを搭載PROGREシリーズがおすすめ

- ①**冷凍食品調理機能**：冷食売れ筋ランキング上位20メニューから、電子レンジ調理では味わえないガス火ならではの美味しさを実感頂ける冷凍食品9メニューを搭載、外側はガス火で水分を飛ばしてカリッと、中はジューシーに仕上げます。
- ②**グリル炊飯機能**：グリルで自動にごはんが炊けるモードを搭載しました。『かに穴』ができるごはんが自動で炊きあがります。ごはんモード、※もっちりごはんモード、※炊きこみごはんモードが選べます。 ※PROGRE Plusのみ
- ③**波型プレートパンでオート調理機能**：脂切れや焦げ目がポイントの焼き調理には、波型プレートパンをオプション設定。

今後も弊社は、お客さまに新しい価値を提供できる商品開発に努めてまいります。

# 青年部会による「火育」「食育」の取組

## 1 「火育」「食育」は10年後、20年後を見据えた大切な備え

LPガスの更なる需要拡大を図るには、次世代教育の一環として、子供達へ火と炎を身近なものとするライフスタイルを復活させることが重要であり、今年度、理事会において「火育」「食育」の取組を決定しました。

## 2 今年度（平成28年度）の取組

### (1) 「火育マイスター」育成講習会への参加 ※詳細は「協会ニュース2」参照

「火育」「食育」の取組を進めるには、まずは子供達に教える指導者の育成が急務であり、第1回青年部会において、部会長から広島市で開催される「火育マイスター」育成講習会（10月21日開催）への参加が提案され、青年部会から部会員8名が初めて参加しました。

（参加者）

床西部会長、中村副部会長、清水委員（都濃）、  
柏木委員（防府徳地）、中野委員（宇部小野田）、  
森岡委員（厚狭）、田尾委員（下関）、  
原田委員（萩）



### (2) 「出前授業」の実施に向けたスキルアップ

防府徳地支部や下松支部では、「火育」「食育」の取組として、火おこしやLPガスの基礎知識等を盛り込んだ「出前授業」が小学校等で先進的に行われています。

青年部会では、2月に西浦小学校で行われる防府徳地支部の「出前授業」を見学することとしており、その効果を体感するとともに、支部の体制や、学校との調整方法、実際の進行手順等を会得し、部会員がそれぞれの支部での実施に向けスキルアップを図りたいと考えています。

## 3 これから進めていきたいこと

### (1) 山口県版「火育マイスター」育成講習会の開催

青年部会を中心に、山口県版「火育マイスター」育成講習会を企画、開催しましょう。

### (2) 「出前授業」の倍増

全支部において小学校とタイアップした出前授業導入の取組を進め、「出前授業」を倍増していきましょう。

# ◆◆◆ 保安・防災特集 (10月) ◆◆◆

## 1 毎年10月は保安・防災の強化月間

毎年、10月23日から29日までの一週間は「高圧ガス保安活動促進週間」、また、10月は「LPガス消費者保安月間」と、全国的に保安・防災活動が展開されています。

山口県においても、自主保安活動の一環として進めている「LPガス安全応援推進運動“すべてはお客様の安心のために”」と相まって、更なる保安・防災対策の徹底が図られるよう、今年度も各種事業に取り組みました。

※「高圧ガス保安活動促進週間」とは

この週間は、昭和29年に「高圧ガス危害予防週間」として制定されました。

その後、昭和60年に現行の期間に、平成14年には名称も変更され、現在に至っています。ずいぶんと歴史の深い取組です。



## 2 各種事業の概要 ※詳細は「協会ニュース2」参照

(1)山口県高圧ガス保安大会 (10月21日 (金) 山口県健康づくりセンター) 等への参加

(2)防災訓練の実施

ア 中核充てん所稼働訓練 (10月20日 (木) エネックス (株) 宇部充填所)

イ LPガス充填所等防災訓練

主催支部	日時	場所
岩国支部	10月13日 (木)	高山石油ガス(株)岩国充填所
柳井・大島支部	10月19日 (水)	柳井市消防訓練場
防府・山口・吉敷支部	10月20日 (木)	山口中央農業協同組合LPG充填所
美祢・長門・萩支部	10月27日 (木)	西日本液化ガス(株)萩支店
光・下松・徳山・都濃支部	11月 2日 (水)	下松市総合グラウンド
下関・豊浦西支部	11月16日 (水)	ヤマサンガス(株)下関営業所

※宇部小野田・厚狭支部は、山口県中核充てん所稼働訓練と併せて実施

(3)液化石油ガス法令講習会 (10月12日 (水)・13日 (木) 県セミナーパーク) の開催

## 3 保安・防災体制の一層の強化

今年 (平成28年) は、11月末日現在、液化石油ガス法関係の事故は1件と、過去10年間でも最も少なく、会員の皆さんのこれまでの地道な取組の成果が表れたものと考えています。

しかしながら、一方では、8月以降、LPガス製造事業所の事故が2件相次ぎました。1件は配管開放検査中の漏洩火災事故、もう1件はタクシーの誤発進による漏洩事故です。

この機会に、今一度「LPガス安全応援推進運動“すべてはお客様の安心のために”」を読み返し、初心に立ち返って、保安・防災体制の一層の強化に努めていただきますようお願いいたします。

# 支部だより

## 柳井支部

### 柳井まつり参加

11月23日（祝）に“柳井三大祭り”の1つ『柳井まつり』が行なわれ、来場者は昨年とほぼ同じ4万5千人と発表されました。

柳井まつりは昭和29年の柳井市発足を記念して昭和30年12月に「農村感謝祭」として行われたのが始まりで、年を経るごとに多彩なイベントが行われるようになりました。

本年度も恒例となった『缶バッジ作製』を行い、皆さん楽しそうにLPガス協会柳井支部のブースを訪れて下さいました。昨年からガスコンロを展示して商品説明を行っており、後日販売に繋がった事例もありました。



その場で撮影した写真を使用して  
バッジを作りプレゼント



ご家庭使用機器アンケートを実施

### 事務局からも一言

**専務理事 河本** 総務、理事会、広報・競エネ・お客様相談所各委員会、自動車部会等を担当しています。1年半。居心地よく、気持ちよく仕事できています。（感謝！です）

自由化等で不安がある中、お客様の「信頼」を基本に、会員の皆様の思いや意見を聞きながら、一歩でも前に進めていきたいと思ひます。

気軽に何でも言っていただければ嬉しく思ひます。

**事務局長 吉賀** 事業、経営改善・保安・中核充てん所各委員会、青年部会、試験事務所、教育事務所、LPガス事故等を担当しています。

ビールをおいしく飲もうと、4月から自転車（カッコよくいうとロードバイク）を始めました。土日には、榎野川沿いの自転車道をフーフーいいながら走っています。

見かけた方は気軽に声を掛けてください。

**職員 花田** 庶務、経理、補助事業（収納事務）等を担当しています。

最近はあるという間に1年が過ぎています。早いもので、協会に勤め始めて25年（四半世紀ってビックリ！）経ってしまい、お局的になってしまいました。そのお局パワーで督促（趣味？特技？）しています。今後ともよろしくお願ひします。



萩支部

青年部ふるさと祭り参加について

11月12日土曜日、13日日曜日、萩市で毎年開催される第12回萩ふるさと祭りに山口県LPガス協会萩支部青年部として参加させていただきました。

萩ふるさと祭りでは萩大名行列が市内を練り歩く萩を代表する祭りです。平安古備組・古萩町大名行列を合わせ、総勢200名を超える行列が城下町を中心に練り歩きます。

メイン会場となる、中央公園では萩の優れた産業・特産品を展示販売約100店舗が出展し毎年多くの市民、観光客で賑わいます。



萩支部青年部のブースでは、主としてガス使用に関する周知文章の配布、ハイブリット給湯・暖房システム、ビルトインコンロ、ガスファンヒーターの展示 LPガスについての質問、LPガスの安全性についてのPR活動をしております。

アトラクションでは、金魚すくいをし 毎年子供たちを中心に大変な賑わいをみせております。

この祭りでの、活動で多くのお客様にLPガスの安全性・ガス器具をアピールできています。

編集委員の一言



「LPガス販売事業者頑張れ」◇編集委員の富田です。テレビCMでよく見るのはリフォーム、水道排水のトラブル修理等でしたが、最近ガス工事の「正直屋」というのを見ます。◇給湯器の取替え宣伝をしていますが、LPガス販売事業者はこのまま見過ごしていいのでしょうか。このような広告が全国版で放映されるというのは、LPガス販売事業者がお客様と接していないことの表れだと思います。もっともっとお客様と、接していこうではありませんか。◇現在、協会が実施している「ぶちええねキャンペーン」は強力な良いツールだと思います。高齢のお客様と接していれば、嘘電話詐欺の予防にもなります。◇私も頑張りたいと思います。